

4 保育所 同胞保育園



【定員】 保育所：150 人
学童クラブ：27 人

施設の運営理念・方針

「のびのびと健やかな体と思いやりのあるやさしい心をそだてよう」

「子どもの主体性を生かし、動と静を大切に豊かな感性をそだてよう」

○一人ひとりの個性・感性を大切にして、様々な環境の中で子どもの育ちを見守る保育を行います。

○子ども・保護者・地域の方と共に、活動を通して笑顔あふれるふれあいの場を大切にしていきます。

○地域子育て支援の拠点として、子育て相談や地域の子育て家庭の交流を積極的に行います。

〒892-0819 鹿児島市柳町 3-20

TEL：099-222-2654 FAX：099-222-2694

E-mail：douhou@kagoshima-swc.jp

1 施設の目指すべき姿

○一人ひとりの個性・感性を大切にし、子ども・保護者の思いに寄り添い、子どもの「育ちを見守る保育」に心がけていきます。併せて、養護と教育が一体となった保育の提供に努め、子どもの最善の利益を保障します。

○保育園に併設している地域子育て支援センターや学童クラブと一体となり、乳幼児期から学童期まで切れ目のない支援を行うとともに、地域の子育ての拠点としての取組を行います。

○地域や関係機関との連携・交流を深め、地域から愛され、必要とされる保育園を目指します。

2 施設を取り巻く環境

- ・わが国では、少子化の進行や本格的な人口減少社会の到来、生活スタイルの多様化や働き方改革の推進など、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えています。また、核家族化の進行、共働き家庭・ひとり親家庭の増加、地域のつながりの希薄化、児童虐待の問題など、子どもや子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化してきています。
- ・待機児童問題については、国において、令和3年度より新たな保育整備計画である「新子育て安心プラン」がスタートし、令和6年度末までの約14万人の保育の受け皿整備が目標とされています。
- ・県では「かごしま子ども未来プラン 2020」、鹿児島市では「第二期鹿児島市子ども子育て支援事業計画」を策定し、待機児童解消や児童虐待対応の体制整備など、さらなる子育て支援施策を推進しています。
- ・乳幼児の育児不安や孤立感を抱える保護者が増加し、家庭や地域の養育力は低下しています。このようなことから、鹿児島市では、すこやか子育て交流館や親子つどいの広場、地域子育て支援センターなど地域の子育て支援の拠点を整備し、子育ての不安感を緩和し子どもの健やかな育ちを支援する取組を行っています。



外観



5歳児保育室



0歳児保育室



子育て支援センター



エントランス

3 施設における課題

- ・ 鹿児島駅周辺の整備が進み、当施設を取り巻く環境も変わりつつあります。保育ニーズの高まりが続く中、様々な課題を抱えた子育て家庭も増えており、これからますます保育所の役割が重要視されてきており、地域の拠点保育所としての役割をしっかりと果たしていく必要があります。
- ・ 待機児童解消をはじめとする地域の保育ニーズに対応するため、市の要請を踏まえ、定員を上回る多くの子どもを受け入れています。安定した運営を行うためには、保育士の確保が最優先課題となります。そのためには、保育士がやりがいと希望を持って働ける職場環境づくりを行う必要があります。
- ・ 一人ひとりの個性・感性を大切に、子どもの主体性を活かした保育支援の充実を図り、保護者とともに障害や発達上の課題などに適切に対応するため、保育士の支援技術力の向上や専門性のスキルアップが必要です。
- ・ 乳幼児から学童期まで継続的な支援を行うことができるよう、地域の様々な専門機関との連携を図りながら、地域子育て支援センターや学童クラブを併設する保育所としての役割を果たしていく必要があります。



なつまつり



つなひき



運動会inかんまちあ

4 計画の目標

(1) 質の高いサービスの提供

- 一人ひとりの個性・感性を大切にし、健やかな身体とやさしい心を養うための保育を行うとともに、安全・安心な保育環境の整備を行い、子どもの育ちを見守る保育園づくりに努めます。
- 障害のある子や支援を要する子に対して、臨床心理士や作業療法士、理学療法士による幼児保育相談の充実を図り、一人ひとりの個性を大切にしながら保護者や関係機関と情報を共有し、支援の充実を図ります。
- 乳幼児期における食に関する習慣の定着と食を通して人間形成や家族関係づくりによる心身の健全育成を図るため、保育士・栄養士・調理師・看護師等が協力して食育を推進していきます。
- 学校や地域と連携を図りながら、子どもの発達や養育環境の状況を把握し、自主性、社会性及び創造性の向上と基本的な生活習慣の確立など、子ども達の健やかな成長を継続的に支援します。
- 虐待防止について、行政機関との情報共有や定期的な虐待防止委員会の開催により、虐待の予防や早期発見に繋げ、子どもの人権が保障されるよう努めます。
- 福祉サービスについて、第三者評価受審と利用者評価から見てきた施設の課題と保護者ニーズを明確にし、サービスの質の向上に努めていきます。

《重点的な取組》

- ・ 専門職を活用した幼児保育相談の充実
- ・ 虐待に関する関係機関との連携
- ・ 学童保育の充実した支援の確立



たなばた



避難訓練

(2) 地域福祉の推進

○地域とのふれあいの場を設けることで、地域に愛される保育園をめざし、災害時の要援護者に対して求められる役割を積極的に果たすとともに、相互の協力体制の構築を図ります。

○保護者の子育て等に関する相談等に対応するため、関係機関や専門機関との連携を図り、きめ細やかな支援につなげることで、地域福祉の推進を図ります。

○学童クラブにおいては、各小学校や地域住民等へ情報提供するなどして地域との連携を図り、子どもを見守る体制を強化します。

○地域子育て支援センターにおいては、地域の子育て家庭に対する相談支援を行うとともに、子育てに関する情報提供等を行い、子育ての孤立化を防ぎ育児不安の解消に向けた支援に努めます。

《重点的な取組》

- ・ 地域子育て支援センターの充実
- ・ 現況を踏まえた地域資源の活用と地域交流



地域のお年寄りとの交流(クリスマス会)



子育て支援センター(なつまつり)

(3) 経営基盤の強化

○入所児童の確保と特別保育事業（障害児保育・療育支援・一時預かり事業）の充実を図りながら経営の安定化に努めます。

○月次実績報告等を活用して、経営意識の醸成を図るとともに、業務の見直しや経費削減を行い、施設の効率的な管理運営や事業執行に努めます。

○保育所の職場環境を整え、保育士の確保、育成により、待機児童受入を積極的に進め、安定的なクラス運営から施設運営に努めます。

《重点的な取組》

- ・ 待機児童解消のための更なる保育士の確保
- ・ 保育業務の軽減のための効果的な業務の見直し

（４）人材の育成

○一人ひとりの個性・感性を大切にし、子どもの育ちを見守る保育を提供するため、保育技術の向上に努めるとともに、保育士の専門的な知識の習得に努めます。

○保育士のキャリアアップに繋がる専門研修へ積極的に参加し、保育士の専門性を高めます。

○専門的分野の講師からコンサルテーション等の機会を通じて子どもの支援を学び、個別支援の充実と集団活動へのつながりを習得し、保育展開の充実を図ります。

○新人保育士育成のマニュアルを活かし、保育士としてのレベルアップに計画的に取り組み保育の質の向上に努めます。

○保育士の確保及び定着を図るため、様々な働き方に対応し職員が働きやすい職場環境づくりに努めます。

《重点的な取組》

- ・ 新任保育士育成の為にマニュアルを活かした研修の実施
- ・ 保育士の技術力アップへの取組み強化
- ・ コンサルテーションの充実



職場内研修



学童クラブの様子

5 保育所 鹿児島みなみ保育園



【定員：110人】

施設の運営理念・方針

子ども一人ひとりに寄り添い、保護者や地域との連携・交流を通して“みんなから愛される保育園”を目指します。

○知育・徳育・体育をバランスよく身につけ素直で優しい心や、相手に対する思いやり、頑張った時の達成感を感じることのできる子どもを育成します。

○「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える子どもを育成します。

○最後まで頑張れる子どもを育成します。

〒890-0068 鹿児島市東郡元町 18-3
TEL：099-253-3145 FAX：099-253-3146
E-mail：k-minami@kagoshima-swc.jp

1 施設の目指すべき姿

- 子ども一人ひとりの思いに寄り添い、個々を大切にしたい保育サービスを提供します。
- サービスの提供にあたっては、知育・徳育・体育をバランスよく養い、素直で優しい心を育て、自己の達成感を感じることのできる子どもを育成します。
- 保育内容や保育環境を常に見直ししながら、保護者が安心して子どもを託せる保育園の運営を行います。
- 地域や関係機関との連携・交流を深め、地域から愛され、必要とされる保育園を目指します。

2 施設を取り巻く環境

- ・わが国では、少子化の進行や本格的な人口減少社会の到来、生活スタイルの多様化や働き方改革の推進など、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えています。また、核家族化の進行、共働き家庭・ひとり親家庭の増加、地域のつながりの希薄化、児童虐待の問題など、子どもや子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化してきています。
- ・待機児童問題については、国において、令和3年度より新たな保育整備計画である「新子育て安心プラン」がスタートし、令和6年度末までの約14万人の保育の受け皿整備が目標とされています。
- ・県では「かごしま子ども未来プラン 2020」、鹿児島市では「第二期鹿児島市子ども子育て支援事業計画」を策定し、待機児童解消や児童虐待対応の体制推進など、さらなる子育て支援施策を推進しています。
- ・乳幼児の育児不安や孤立感を抱える保護者が増加し、家庭や地域の養育力は低下しています。このようなことから、鹿児島市では、すこやか子育て交流館や親子つどいの広場、地域子育て支援センターなど地域の子育て支援の拠点を整備し、子育ての不安感等を緩和し子どもの健やかな育ちを支援する取組を行っています。



保育室



エントランス



保育室トイレ



2階テラス

3 施設における課題

- ・当施設が立地する鹿児島市中央部の鴨池地区は商業施設、病院、企業が多く働く親にとって利便性の高い立地条件にあります。このように保育需要が比較的高い地域の保育園として保育士の確保など環境を整え、地域の多様化する保育ニーズに積極的に対応していく必要があります。
- ・待機児童の解消をはじめ地域の保育ニーズに着実に対応するためには、保育士の確保が最優先の課題であり、そのためには保育士がやりがいと希望をもって働ける職場づくりを行う必要があります。
- ・個々を大切にしたい保育サービスを提供するために、年々増加傾向にある、支援を多く要する子どもに対し、適切な支援を行うための保育技術の向上に努めるとともに専門的な知識の習得を図る必要があります。また、令和2年度に実施した第三者評価の結果を踏まえ、子どもの支援・保護者の支援においてサービスの質の向上が必要です。
- ・地域の育児不安や孤立感を抱える子育て中の親に対し、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するため、地域の子育て支援の充実を図る必要があります。
- ・全面改築より10年経過しており、子どもの安全な保育環境を確保する観点から、施設・設備等の点検・修繕を計画的に行い保育環境や食育環境の向上に努める必要があります。



もちつき



園庭遊び



テラスでの野菜作り

4 計画の目標

(1) 質の高いサービスの提供

○事業団基本理念、園の保育理念に基づき、心身ともに豊かで健やかに育つための教育・保育の内容、保育環境の充実を図るとともに、保護者が安心して子どもを託せる保育園を目指します。

○福祉サービスについて、第三者評価や自己評価、利用者アンケート等を通じて明確になった施設の課題の改善に取り組み、サービスの質の向上を図ります。

○障害のある子や支援を要する子に対し、臨床心理士や作業療法士、言語聴覚士による幼児保育相談を開催し、一人ひとりを大切にしながら保護者や関係機関と情報を共有し、支援内容の充実を図ります。

○子どもの保育環境の安全確保の観点から、防災面については各種訓練を行うとともに、健康状態の把握に努めながら感染症・食中毒の予防のため、衛生意識の向上を図ります。

○子どもの事故防止を図るため、職員会議等でヒヤリハット・事故報告書の要因分析や情報共有を図りながら、再発防止に努めるとともに、危険に対する気づき、予測、回避能力の向上に努めます。

○全面改築後の経年劣化に対し、保育環境の整備を推進し、利用者に評価され、選ばれる保育園づくりに努めます。

《重点的な取組み》

- ・専門職を活用した幼児保育相談の充実
- ・第三者評価受審結果に基づくサービス改善の取組強化



リズム＆運動遊び



英会話



クッキング



川内自興園での芋ほり交流

(2) 地域福祉の推進

○地域の子育て世帯を対象とした子育て支援事業の充実を図り、子育てに関する不安感の緩和に努めます。

○地域から愛される保育園づくりを目指し、地域行事への参加、世代間交流の場を展開します。

《重点的な取組み》

- ・ ホームページを活用した子育て支援事業の充実
- ・ 安全を考慮した地域行事への参加、世代間交流の工夫、充実



にこにこランドの様子



地域お年寄りとの交流

(3) 経営基盤の強化

○入所児童の確保と特別保育事業（延長保育・一時預かり事業・障害児保育・療育支援）の充実を図りながら経営の安定化に努めます。

○月次実績報告等を活用して、経営意識の醸成を図るとともに、業務の見直しや経費削減等を行い、施設の効率的な管理運営や事業執行に努めます。

○安定的に保育士を確保するため、積極的に情報発信を行うとともに、職員が働きがいのある職場環境づくりを行います。

《重点的な取組》

- ・ 待機児童解消のための更なる保育士の確保
- ・ 多様な働き方に対応した就業時間の見直し

(4) 人材の育成

○個々を大切にしたい保育サービスを提供するため、コンサルテーション等を通じた専門分野からの助言を活かした子ども・保護者支援を行うとともに、保育士の専門的な知識の習得を図ります。

○それぞれの職務内容に応じた専門性を高める研修へ積極的に参加し、必要な知識及び技術の習得、維持・向上に努め保育内容の充実を図ります。

○業務の合理化を進め、職員の負担軽減を図るとともに、職員が継続して働くことができるよう、多様化する働き方に対応し、職員一人ひとりが働きやすい職場づくりに努めます。

○新任職員に対して、新任職員マニュアルを活用し育成の充実を図ります。

《重点的な取組み》

- ・ 個々の保育技術向上と保育内容の充実
- ・ 新任保育士の育成の強化（マニュアルの活用・研修の充実等）
- ・ コンサルテーションの充実



職場内研修



生活発表会



運動会

6 地域子育て支援拠点事業 南部親子つどいの広場



施設の運営理念・方針

- 子育て中の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流する場を提供し、子育て支援についての専門職員を配置し、利用者の子育てに係る不安感の緩和を図ります。
- 利用者の安心・安全を最大限に配慮し、快適な環境のもとで施設を利用できるよう、より効果的な組織・体制による適切な施設管理を行います。
- 鹿児島市の子ども・子育て支援施策の一環を担う事業として、南部保健センターとの連携のもと、地域の子育て力の向上と支援機能の充実を図ります。
- 事業団の経営する多種多様な福祉施設の運用実績と、保育園における子育て支援事業実施による専門性を活用し、つどいの広場事業の円滑な運営管理に努めます。

〒891-0117 鹿児島市西谷山1丁目3-2
TEL : 099-266-6501 FAX : 099-266-6502
E-mail : tanikkorin@kagoshima-swc.jp

1 施設の目指すべき姿

- 子育て親子の交流等を促進し、親の子育てへの不安感を緩和することで、子どもの健やかな育ちを促進します。
- 地域における子育て支援拠点として、子育て家庭が安心して子育てできる環境の場を提供します。
- サービスの提供にあたっては、多種多様な福祉施設を有する事業団の専門性を活用するとともに、南部保健センターをはじめとした地域の関係団体との連携を更に図り、つどいの広場事業の円滑な運営管理を行います。

2 施設を取り巻く環境

- ・急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化の中で、国は、「ニッポン一億総活躍プラン」などに基づく働き方改革や待機児童解消に向けた保育の受け皿整備、「新しい経済政策パッケージ」に基づく幼児教育・保育の無償化など、取組の充実を図っています。鹿児島市においても、妊娠・出産期から切れ目のない、子ども・子育て支援に関する総合的な計画として「第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。
- ・子育て支援事業は、保育所が地域において、各保育所の特色を生かし、未就園児童と保護者を対象にした地域子育て支援センター事業としてその役割を担ってきました。
- ・鹿児島市においては、平成 20 年に 1 か所目の親子つどいの広場を開設し、現在市内 4 地区に設置し、親子が集う場の提供を目的とし、地域資源との協働や連携による子育て環境の充実、地域の子育て力を高める取組を展開しています。



子ども広場

3 施設における課題

- ・鹿児島市地域子育て支援拠点事業所が、すこやか子育て交流館（りぼんかん）を中心に、各地域に1か所ずつ親子つどいの広場が設置されています。今後、第三期指定管理を継続するために、さらなる利用促進につながる魅力ある事業検討、幅広い広報や情報発信が必要です。
- ・職員においては、引き続き地域子育て支援にあたってコーディネート力、コミュニケーション力といったソーシャルワーク技術がさらに求められます。なお、子育て支援員研修を積極的に受講し、利用者支援事業の支援充実を図っていく必要があります。



一時預かり



パパ講座（スライム遊び）



♪パパと一緒にベビータンソ♪



ミニイベント（一日2回実施）

4 計画の目標

(1) 質の高いサービスの提供

○鹿児島市の子ども・子育て支援施策の一端を担う事業として、併設されている南部保健センターとの連携のもと、子育て中の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流する場を提供します。同時に、事業団が取り組んでいる各福祉分野での豊富な知識、実績、人材を活用し、的確な支援により子育てに係る不安感の緩和、充実感を得られるように支援します。また、地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」を活用して自己評価を行いサービスの向上に努めます。

○個々の家庭のニーズを把握し、必要に応じて地域の情報提供や必要な社会資源につなぐ利用者支援事業を行うことにより、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与します。

《重点的な取組》

- ・ 事業団の多種多様な人材を活かした専門的な講座、相談を実施
- ・ 自主提案事業 親育ち講座（NP・BP）の実施



親育ち講座（NP・BP 講座）



♪ たにっこりん マルシェ ♪

(2) 地域福祉の推進

○様々な関係機関や地域住民、地域組織との連携を密に図り、子育て支援活動を実施する団体等との連携の構築を図ります。

○保健センター関係者等と地域の様々な子育て家庭の情報交換を行い、地域で孤立化している親子等の子育て支援の充実に努めます。

《重点的な取組》

- ・ 近隣学校（鹿児島大学・鹿児島国際大学・開陽高校等）と共同して、多様な世代との連携を継続的に実施し、親子の育ちを継続的に支援する事業を実施
- ・ 保健センターとのタイアップ事業実施（健康祭り・育児相談時の保育等）
- ・ 高齢者福祉センターとのタイアップ事業（伝統文化や行事等）



国際大生と遊ぶ



鹿大看護実習生によるミニイベント

(3) 経営基盤の強化

○指定管理者として鹿児島市と締結した基本協定を誠実に履行し、鹿児島市との信頼関係を深めるとともに、管理運営の適切な執行を行います。また、令和5年度以降の指定管理を受けた際も同様に、管理運営の適切な執行を行います。

(4) 人材の育成

○地域子育て支援拠点事業所の支援者としての資質を高めるため、親子つどいの広場に関する研修に参加します。

○内部講師の育成に努めるとともに、コーディネート力、コミュニケーション力といったソーシャルワーク技術を高めるための研修等に参加し、職員一人ひとりの技術向上を図ります。

《重点的な取組》

- ・ 支援に必要な外部研修（子育て支援員、子育て支援士一種、子育て支援コーディネーター等）の参加と資格取得